

# 寒河江川さぼう



国土交通省

東北地方整備局  
新庄河川事務所  
寒河江川砂防出張所

第133号 令和7年10月

出張所は西川ICすぐそば



～現場体験や地域体験等を通じ「砂防事業と地域の暮らし・関わり」を知る～

## キャンプ砂防2025 in月山

国土交通省では、砂防事業の技術者をを目指す学生を対象に「キャンプ砂防」を全国で実施しています。東北では唯一、新庄河川事務所が実施事務所となります。今回は3名の学生が参加して、9月8日(月)から9月12日(金)にわたり開催されました。9月11日(木)には、寒河江川砂防出張所管内の志津地区地すべり対策事業の工事現場で、ICTを活用した集水井点検や地すべり観測を体験しました。



### ○月山地すべり概要説明



**キャンプ砂防とは**・・・ 砂防関係事務所等における就業体験や中山間地域での生活体験を通じて、砂防事業の役割や防災対策のあり方、その地域が抱えるさまざまな問題について学び、砂防関係事業に関する理解を深め、中山間地域における砂防の意義・役割を考えることを目的としています。

### ○地すべり観測体験



(孔内傾斜計)



今回は新型孔内傾斜計を使ったよ。新型は計測器が小さく軽くなったんだ！



孔内傾斜計と呼ばれる測定器を用い、「地すべり観測」・・・ 地中に埋めた管に計器を挿入して地すべりの動きを測定します。

### ○ICTを活用した集水井点検

集水井

集水井の内部



16mも深さがあるんだよ



集水井内に入らずにカメラで点検できるんだ！

集水井の内部を目視点検



確認中！

**しゅうすいせい** 地すべり区域で、地下水が集中している付近に「集水井」・・・ 縦井戸を設置して、地下水を集水して沢に排水させる井戸のことをいいます。

**「銘版」**・・・ 名前や仕様、製造者などの重要な情報が表示されている板で、機械や設備、建築物などに取り付けられています。



集水井ごとに銘版があるよ！

銘版



東北建設工業新聞から取材がありました！

〈現場取材の様子！〉

キャンプ生も取材に応じていたよ！



※東北建設工業新聞は、東北六県を取材エリアとする建設専門紙です。



9月24日(水)に、寒河江川砂防出張所管内の施工業者および新庄河川事務所の職員等が参加し、安全パトロールを行いました。安全パトロールは、請負工事の安全施工と労働災害の未然防止を目的として毎年実施しています。今回は2件の工事と、1件の業務の現場を点検しました。作業をするうえで危険な箇所がないか、法令は守られているか等安全管理体制の確認をし、点検終了後に各現場において点検結果について意見交換を行いました。

## 改善点の一部をご紹介します

今回のパトロールでは、法令違反はなかったものの何点が改善の指摘があり、各現場とも指摘事項についてすみやかに対処されていました。



現地への作業員の移動は仮設モノレールを利用して移動を行っている。モノレールが故障した場合の移動時のルートに、モノレールを横断する箇所がある。



モノレールを横断しない対策として、昇降設備を別ルートに設置し、横断しなくても通行できる対策を行った。

合図者



作業時は玉掛け者及び合図者のヘルメットに、ヘルバンドで玉掛け者・合図者の表示を行い、他の作業者と区別できるようにした。また、作業計画打合せで有資格者が必ず実施するよう打合せを行った。

今後もより一層安全に工事を進めて参ります。



## パネル展を開催しました！



9/6(土)・7(日)に西川町において『山形 月山 SEA TO SUMMIT 2025』が開催されました。当出張所では、1日目の環境シンポジウムの会場である西川町交流センター「あいべ」にて、砂防や地すべり等についてのパネルの展示をおこないました。



\*興味を持ってご覧いただき、ありがとうございました！\*

西川交流センター「あいべ」



## SEA TO SUMMIT

人力のみで海(カヤック)から里(自転車)、そして山頂(登山)へと進む中で、自然の環境に思いを巡らせ、かけがえのない自然について考えようという環境スポーツイベントです。



～本紙をご覧頂いた感想や砂防事業、国土交通省の事業へのご意見、ご質問等をお寄せください～

皆さんの声をお待ちしています

担当：安田・工藤

さがえがわさぼうしゅっちょうじよ  
寒河江川砂防出張所



〒990-0702  
西川町大字海味字下モ山916-2  
TEL 0237-74-2366  
FAX 0237-74-2801  
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/>

